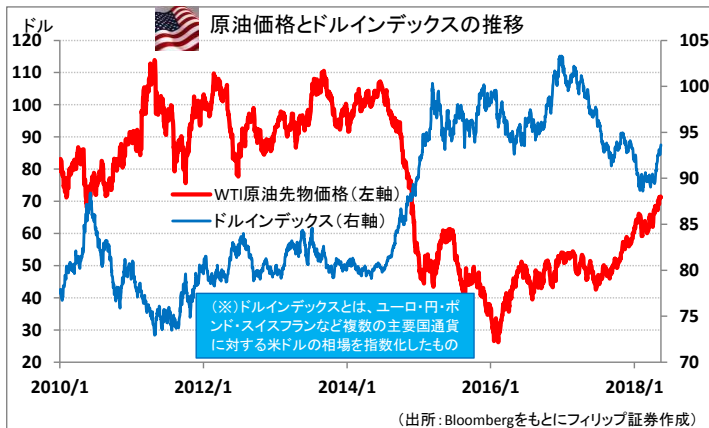
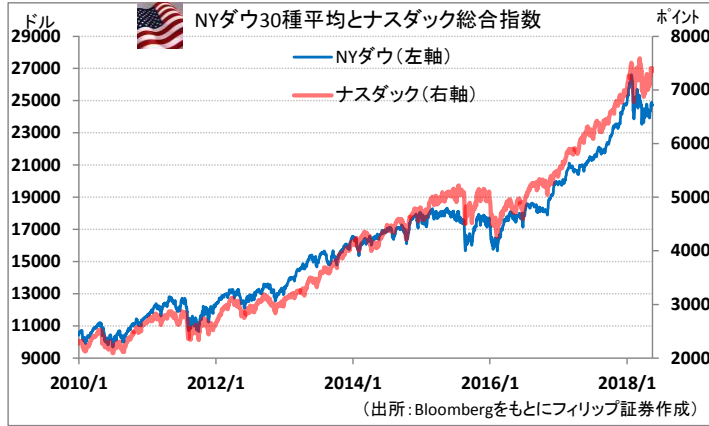


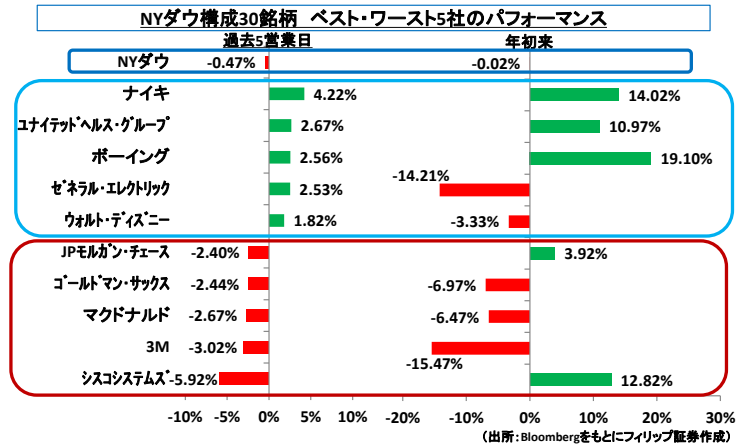
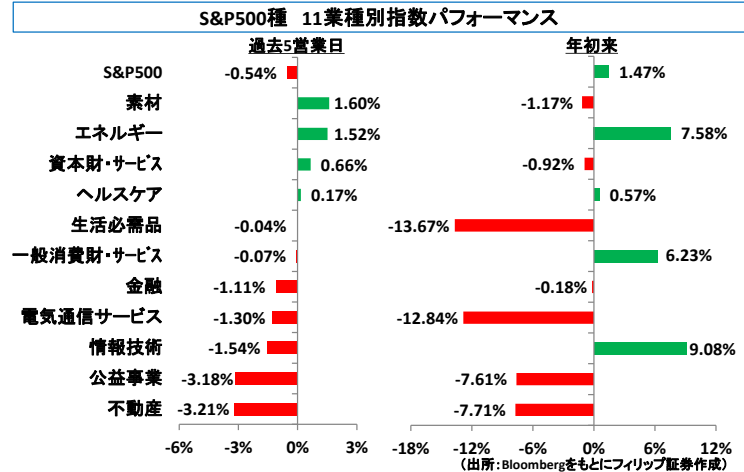
### Report type: ウィークリーストラテジー



### “強弱材料交錯でもみ合いの展開へ”

- 5/2から5/14にかけて NY ダウが8連騰となった米国株式市場だが、その後は狭いレンジでの膠着相場となっている。中東情勢の緊張の高まり、10年国債利回り上昇、ドル高進展などが相場の重しとなった。在イスラエル米大使館のエルサレム移転を巡ってはパレスチナのガザ地区で数万人規模のデモ参加者がイスラエル軍と衝突し、実弾攻撃によりパレスチナ人50人以上の犠牲者が出た。米国のイラン核合意からの離脱など中東情勢の混乱が続く可能性はある。
- トランプ大統領は中間選挙を控え、引き続き国内支持層に向けた行動を取ることが想定されよう。ただ、現状は混乱が中東全般には広がっておらず、株式市場への影響は限定的と思われる。一方、6月の FOMC で追加利上げがほぼ確実視され、金利は一段と上昇しドル高も進展しており、引き続き相場抑制要因となる可能性がある。10年国債利回りは3%台と2011/7以来の水準で推移し、ドルインデックスは足元で年初来高値を更新しており、動向を注視したい。
- 5/17の取引終了後に2018/10期2Q(2-4月)の決算を発表した半導体製造装置最大手のアプライド・マテリアルズ(AMAT)の売上高見通しが市場予想を下回り、翌5/18の同社株価は前日比8.25%安と大幅に下落した。SOX 指数は同1.44%安、S&P500の24業種別で半導体・同製造装置が同1.64%の下落となるなど、影響が広がっている。同社3Q(5-7月)の売上高計画(レンジの中央値)が前年同期比約18%増と2Q の前年同期比29%増から鈍化し市場予想を下回った。ただ、3Q も大幅増収の見通しで、EPS の会社見通しは市場予想を上回っており、決算を受けたアナリストの株価判断は「買い推奨継続」が大半であり、半導体業界全体への懸念とはならないと見る。むしろ、半導体を中心としたハイテク株の下落は、同社を含め好業績・優良銘柄の買いの好機と見ている。
- 5/17-18にワシントンで開催された第2回目の米中貿易交渉は、一日遅れの5/19に「米国の対中貿易赤字を減らすため、中国が米国のモノとサービスの輸入を大幅に増やすことで合意した」との共同声明が発表された。5/20には米ニューシアン財務長官が「貿易戦争を当面保留する」とコメント。協議は継続されるが、中国への追加関税がひとまず保留されることとなった。米国株式市場は、強弱材料が交錯する狭いレンジでもみ合いの展開を予想する。(庵原)
- 5/22号ではボーイング(BA)、メーシーズ(M)、マイクロン・テクノロジー(MU)、クアルコム(QCOM)、コンステレーション・ブランド(STZ)、タイソン・フーズ(TSN)を取り上げた。

### S&P500 業種別および NY ダウ構成銘柄の騰落率(5/18 現在)



### ■主な企業決算の予定

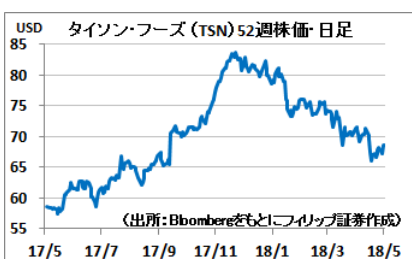
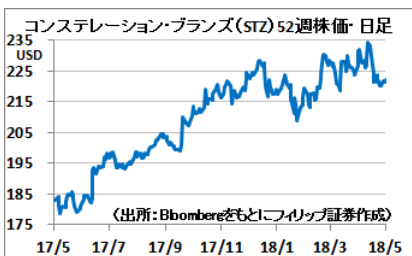
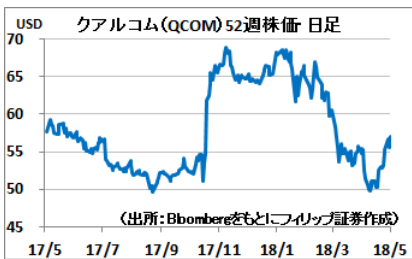
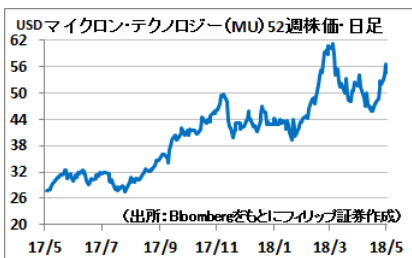
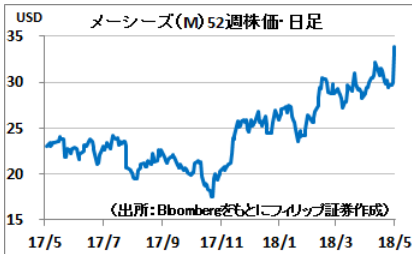
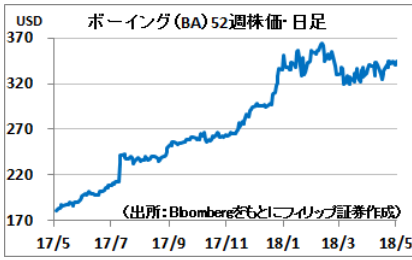
- 5月22日(火): HP エンタープライズ
- 23日(水): ティファニー
- 24日(木): ベスト・バイ、ギャップ

### ■主要イベントの予定

- 22日(火):
  - ・米韓首脳会談(ワシントン)
  - ・香港株式市場は休場
- 23日(水):
  - ・4月の新築住宅販売件数
  - ・FOMC 議事録
  - ・北朝鮮、豊溪里核実験場の廃棄式典(25日まで)
- 24日(木):
  - ・19日終了週の新規失業保険申請件数
  - ・3月のFHFA住宅価格指数
  - ・4月の中古住宅販売件数
  - ・フィラデルフィア連銀総裁、NY連銀総裁、講演
  - ・独1-3月のGDP(改定値)
  - ・ユーロ圏財務相会合(ユーログループ)
  - ・EU財務相理事会
  - ・サントペテルブルク国際経済フォーラム(26日まで)
- 25日(金):
  - ・4月の耐久財受注
  - ・5月のミシガン大学消費者マインド指数(確定値)
  - ・ダラス連銀総裁、アトランタ連銀総裁、シカゴ連銀総裁がパネル討論会に出席
  - ・パウエルFRB議長がスウェーデン中銀の会議に出席(ストックホルム)
- 27日(日):
  - ・コロンビア大統領選挙(第1回投票)、決選投票の場合は6月17日実施
  - ・中国4月の工業利益

(Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

■ 銘柄ピックアップ



◇ **ボーイング(BA)・・・2018/7/25に2018/12期2Q(4-6月)の決算発表を予定**

- ・1916年に創業。航空宇宙機器製造会社。民間航空機、防衛・軍用機、電子・防衛システム、衛星、衛星打ち上げ機、高度情報通信システムなどの製品を、150カ国以上で展開する。
- ・2018/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比6.5%増の233.82億 USD、純利益が同56.9%増の24.77億 USD。調整後 EPS は3.64USDと市場予想の2.58USD を上回った。低燃費が特徴の737型 MAX がアジアの LCC などからの引き合いが強かったほか、軍用機の受注も伸びた。
- ・2018/12通期の会社計画を上方修正。売上高は960-980億 USD と据え置いたが、調整後 EPS を14.30-14.50USD(従来計画13.80-14.00USD)とした。2018/12通期の市場予想は、売上高が前期比4.8%増の979.08億 USD、当期利益が同20.4%増の98.73億 USD である。(増潤)

◇ **メーシーズ(M)・・・2018/8/9に2019/1期2Q(5-7月)の決算発表を予定**

- ・1830年に創業した国内有数の小売業者。「メーシーズ」と「ブルーミングデールズ」のブランドの下、690店舗以上の百貨店を展開するほか、他業態の専門店を約160店舗運営している。
- ・2019/1期1Q(2-4月)は、売上高が前年同期比3.6%増の55.41億 USD、純利益が同78.2%増の1.39億 USD。調整後 EPS は0.42USDと市場予想の0.36USD を上回った。セールを前倒して行ったことも寄与し、ライセンス加盟店を含めた既存店売上高は同4.2%増と大幅に伸びた。
- ・堅調な個人消費や国際観光の復調が見込まれることから、2019/1通期の会社計画を上方修正。調整後 EPS を3.75-3.95USD(従来計画3.55-3.75USD)とした。通期市場予想は、売上高が前期比2.3%減の250.64億 USD、当期利益は同26.3%減の11.46億 USD である。(増潤)

◇ **マイクロン・テクノロジー(MU)・・・2018/6/21に2018/8期3Q(3-5月)の決算発表を予定**

- ・1978年創業の半導体製造企業。DRAM、NAND、NOR 型フラッシュメモリー等の高性能メモリー技術を幅広く持ち、自動車、コネクテッドホーム、産業用機械向け等サービスを提供する。
- ・2018/8期2Q(12-2月)は、売上高が前年同期比71.4%増の68.03億 USD、純利益が同3.7倍の33.09億 USD。調整後 EPS は2.82USDと市場予想の2.74USD を上回った。クラウド、スマホ、自動車など幅広い分野で需要が拡大。粗利益率が58.1%と前年同期の36.7%から改善した。
- ・2018/8期3Q(3-5月)会社計画は、売上高が72-76億 USD、粗利益率が57-60%、営業費用が7.0-7.5億 USD、営業利益が36-38億 USD、調整後 EPS は2.76-2.90USD。通期市場予想は、売上高が前期比44.2%増の293.13億 USD、当期利益が同2.5倍の125.06億 USD。(増潤)

◇ **クアルコム(QCOM)・・・2018/7/25に2018/9期3Q(4-6月)の決算発表を予定**

- ・1985年設立。モバイルデバイスなどの無線通信機器で使用される半導体の設計・開発および基盤技術の商業化を行う。3G・4G 通信のパイオニアであり、5G 通信でも先駆者である。
- ・2018/9期2Q(1-3月)は売上高が前年同期比4.9%増の52.61億 USD、純利益が同51.5%減の3.63億 USD。アップルや委託製造先との特許料を巡る係争によりライセンス収入が9.70億 USD 減少したが、半導体製品が好調。2018/1に公表した費用削減計画に関連したリストラ費用3.10億 USD が重荷となり減益。調整後 EPS は0.80USDと市場予想の0.69USD を上回った。
- ・2018/9期3Q(4-6月)の会社計画は、売上高が48-56億 USD、EPS が0.35-0.50USD、調整後 EPS が0.65-0.75USD。2018/9通期の市場予想は、売上高が前期比1.3%減の220.08億 USD、当期利益が▲43.96億 USD と前期の24.66億 USD から赤字転落。報道によると、中国当局は同社による蘭 NXP セミコンダクターズの買収の承認申請の審査を再開したもよう。(増潤)

◇ **コンステレーション・ブランズ(STZ)・・・2018/6/28に2019/2期1Q(3-5月)の決算発表を予定**

- ・1945年に創業したビール、ワイン、蒸留酒の世界的な製造・販売業者。「Corona」、「Modelo」などの海外ブランドのほか、「Ballast Point」や「Funky Buddha Brewery」などのクラフトビールも提供する。プレミアムワインやプレミアムスピリッツでも多数の人気ブランドを展開する。
- ・2018/2期4Q(12-2月)は、売上高が前年同期比8.4%増の17.65億 USD、純利益が同2.0倍の9.25億 USD。「Corona」、「Modelo」などのビールの販売が好調だったほか、税制改革に伴う3.63億 USD の一時利益が寄与。調整後 EPS は1.90USDと市場予想の1.74USD を上回った。
- ・2019/2通期の会社計画は、調整後 EPS が9.40-9.70USD である。2019/2通期の市場予想は、売上高が前期比7.4%増の81.43億 USD、当期利益が同17.3%減の19.16億 USD。(増潤)

◇ **タイソン・フーズ(TSN)・・・2018/8/6に2018/9期3Q(4-6月)決算発表の予定**

- ・1935年設立。世界最大級の食品会社であり、タンパク質供給のリーディングカンパニー。「Tyson」、「Jimmy Dean」、「Hillshire Farm」、「Ball Park」、「Wright」などのブランドを展開する。
- ・2018/9期2Q(1-3月)は、売上高が前年同期比7.6%増の97.73億 USD、純利益は同7.4%減の3.15億 USD。調整後 EPS は1.27USDと市場予想の1.30USD を下回った。現場従業員への臨時ボーナスの1.09億 USD や財務健全化プログラムに伴う費用の6,500万 USD が重荷に。
- ・2018/9通期の会社計画は、調整後 EPS が6.55-6.70USD。通期の市場予想は、売上高が前期比6.6%増の407.70億 USD、当期利益は同39.1%増の24.67億 USD。中国は米国からの農産品やエネルギーの輸入を大幅に増やすことで合意。中国向け食肉輸出の拡大も。(増潤)

(※)決算発表の予定は5/18現在であり、変更される可能性があります。



**フィリップ証券株式会社**

Member of PhillipCapital Group

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第127号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

#### 【留意事項】

- 上場有価証券等のお取引の手数料は、国内株式の場合は約定代金に対して上限1.242%(消費税込)(ただし、最低手数料2,160円(消費税込)、外国取引の場合は円換算後の現地約定代金(円換算後の現地約定代金とは、現地における約定代金を当社が定める適用為替レートにより円に換算した金額をいいます。)の最大1.08%(消費税込)(ただし、対面販売の場合、3,240円に満たない場合は3,240円、コールセンターの場合、1,944円に満たない場合は1,944円)となります。
- 上場有価証券等は、株式相場、金利水準等の変動による市場リスク、発行者等の業務や財産の状況等に变化が生じた場合の信用リスク、外国証券である場合には為替変動リスク等により損失が生じるおそれがあります。また新株予約権等が付された金融商品については、これらの権利を行使できる期間の制限等があります。
- 国内金融商品取引所もしくは店頭市場への上場が行われず、また国内において公募、売出しが行われていない外国株式等については、我が国の金融商品取引法に基づいた発行者による企業内容の開示は行われていません。
- 金融商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、お取引に際しては、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書又はお客様向け資料をよくお読みください。

#### 【免責事項】

- この資料は、フィリップ証券株式会社(以下、「フィリップ証券」といいます。)が作成したものです。
- 実際の投資にあたっては、お客様ご自身の責任と判断においてお願いいたします。
- この資料に記載する情報は、フィリップ証券の内部で作成したか、フィリップ証券が正確且つ信頼しうると判断した情報源から入手しておりますが、その正確性又は完全性を保証したものではありません。当該情報は作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。この資料に記載する内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- この資料を入手された方は、フィリップ証券の事前の同意なく、全体または一部を複製したり、他に配布したりしないようお願いいたします。

WEB